

2025年 3月 3日

## 2024年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 一般社団法人大ラット  
ホーム名 自立援助ホームにこつと  
代表者・役職名 氏名 代表理事 岡田 隆明

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 申請事業の名称

リフォームで安心・安全・快適な生活環境に！

## 2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

「栃木県の県北に自立援助ホームを！」をスローガンに、2023年5月1日、栃木県那須塩原市に自立援助ホームにこつとをオープンしました。「みんながニコッと笑える居場所」をコンセプトに、子ども達にとって実家のような存在になり、社会に出てからも後押しし続けられるホームを目指しています。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

当ホームは築46年の古い家屋を利用して運営しているため建物の管理が難しい状況です。とくに、那須塩原市の寒い冬を乗り切るための防寒対策は必須です。今回の事業では、内窓設置(防寒対策)、断熱材設置、壊れている床とドアの修理、床下点検口の設置を実施し、安心・安全・快適なより良い生活環境を整えたいです。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- ・防寒対策として内窓を設置
- ・床下の断熱材が入っていない箇所に断熱材を設置
- ・床のへこみの修理
- ・勝手口のドア修理
- ・勝手口に網戸設置(暑さ対策)
- ・床下点検口設置

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

内窓を設置したことにより、室内の暖気が外に逃げにくくなり、より快適な環境になりました。また、防音と防犯の効果も向上しました。

廊下にある勝手口を修理し、網戸を設置したことにより、ホーム内の風通しが非常に良くなりました。

廊下の床にへこみがあったため、児童から不安の声が上がっていましたが、修理後は安心して通れるようになりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

空き家を活用して事業を実施することは、空き家問題が社会問題となっている現代において価値のあることだと考えています。築 46 年の一軒家ですので、建物の不具合は多く発生しますが、子ども達がいつでも帰ってこられる居場所として存在し続けるために、建物の維持管理も抜け目なく実施していきたいと考えています。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

